

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2009年版

宗教学人日本基督教団広島流川教会・学校法人広島流川教会

欄に数値またはコメントを記入

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.7
Q1 室内環境			0.39					3.4
1 音環境		3.8	0.20					3.8
1.1 騒音		4.0	0.76					
1 暗騒音レベル	礼拝堂 NC-30、エントランス NC-40	4.0	1.00					
2 設備騒音対策								
1.2 遮音		3.4	0.16					
1 開口部遮音性能		3.0	0.36					
2 界壁遮音性能	TLD値60の間仕切及び150mm厚のRC躯体により評価	5.0	0.32					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	0.16					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	スラブ厚180mm、スラブ面積15~20㎡、フローリング仕上	4.0	0.16					
1.3 吸音		3.0	0.08					
2 温熱環境		2.6	0.40					2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温設定		3.0	0.51					
2 負荷変動・過渡制御性								
3 外皮性能		3.0	0.24					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.25					
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.3	0.10					3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30					
1 昼光率	昼光率4.86%	5.0	0.60					
2 方位別開口		3.0	0.40					
3 昼光利用設備		3.0	0.30					
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
1 照度		3.0	1.00					
2 照度均斉度								
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気環境		4.4	0.30					4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	内装材は原則F☆☆☆☆品を使用	5.0	1.00					
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気		3.5	0.30					
1 換気量	建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上を確保している	5.0	0.43					
2 自然換気性能		1.0	0.14					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.43					
4 給気経路								
4.3 運用管理		4.5	0.20					
1 CO ₂ の監視	管理マニュアルを整備し、組織的に運用している	4.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館禁煙とする	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.4
1 機能性		3.6	0.40					3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.57					
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		4.6	0.43					
1 広さ感・景観		3.0	0.19					
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画	教会という特性を踏まえ内装や照明に一体性をもたせるよう取り組んだ	5.0	0.81					
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	原則として40年の長期間の耐用年数を設定した	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.3 適切な更新									
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化と、非常時の情報機器の保護策を行っている	4.0	0.20	-	-	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	-	-	
1	階高のゆとり	1-2F 4.1m, 3F 4.05m, 4F 3.75m	4.0	0.24	-	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比 0.25	4.0	0.76	-	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げを痛めることなく維持補修が可能	5.0	0.11	-	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-	-	
6	バックアップスペース	バックアップスペースを確保している	4.0	0.22	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	-	-	4.2
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		街のシンボルとなりうるデザインとまちなみへの配慮を行った	5.0	0.40	-	-	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域コミュニティの利用も考えた施設、機能を設けた	5.0	0.50	-	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	積極的に緑化を施すことで、温熱環境の向上に努めた	4.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制		集会所 -21.38%, 学校 -24.53%	4.0	0.27	-	-	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.21	-	-	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=51.2	5.0	0.31	-	-	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.21	-	-	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマや、省水型機器を使用している	4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	防水(屋上)、ビニル床材(WC床等)、断熱材(外壁等)	5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材の分別と、OAフロアの再利用に配慮	5.0	0.24	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	製品安全データシートより確認	5.0	0.32	-	-	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤不使用	4.0	0.33	-	-	-	-	
2	断熱材	ノンフロンウレタンを使用・GWP値 = 1	5.0	0.33	-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		リサイクル製品の使用と建物の省エネ化によりCO2の削減に努めた	5.0	0.33	-	-	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	全熱交換器、LED照明の採用により建築設備の排熱量を緩和している	4.0	0.50	-	-	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25	-	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	東側に建物利用者以外の人も利用できる駐車場を設置	5.0	0.33	-	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-	-	-	
1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	環境省光害対策ガイドラインの過半数を満たしている・広告照明なし	5.0	0.70	-	-	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	